



損害保険業務とNACCSの連携について

2012年11月21日
輸出入・港湾関連情報処理センター(株)

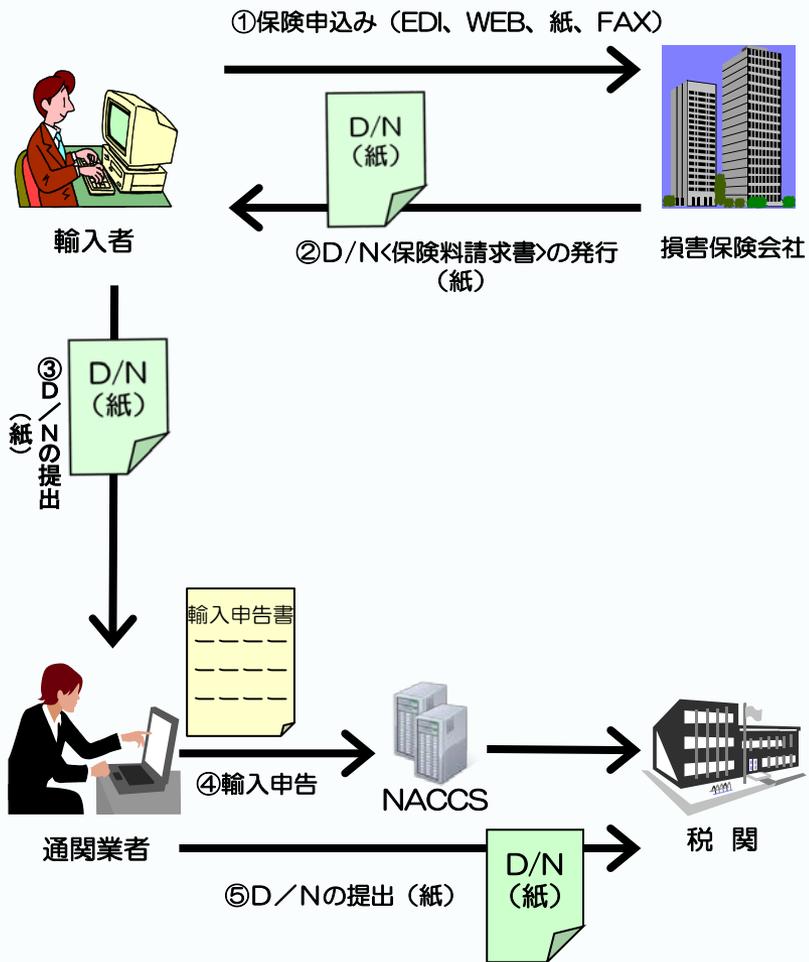
1. 損害保険業務とNACCSの連携について

現在、紙ベースで行われている損害保険業務について、NACCSとのデータ連携による利便性向上について検討し、実現を目指す。

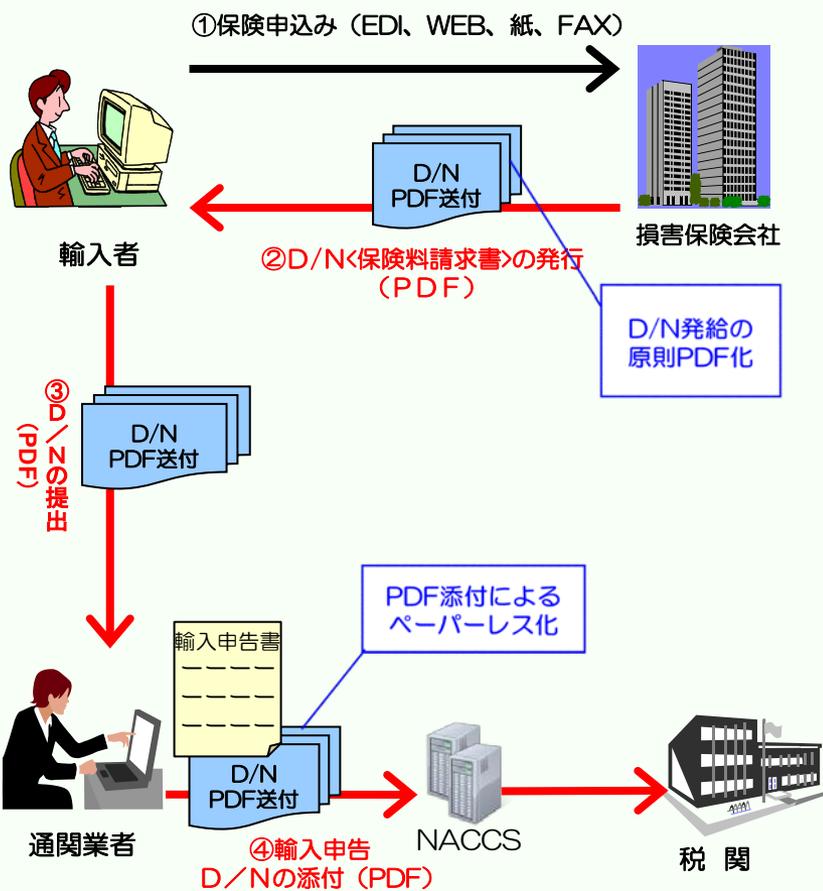
区分	概要	備考
1. 個別検討事項	輸入外航貨物保険業務についてNACCSとの連携	
2. 現行仕様	<p>現状における対応状況は以下のとおりとなっている。</p> <ul style="list-style-type: none">➤ 損害保険会社から輸入者へのD/N（保険料請求書）の送付は、殆どが紙ベースとなっている（輸入通関時に添付書類として紙のD/Nを提出している。）。➤ 輸入包括保険については、輸入者が1ヶ月分の輸入実績を独自に集計のうえ、損害保険会社に報告を行っている。➤ 税関に対する包括保険申請については、すべて紙ベースでの申請となっている。	
3. 見直しの経緯 （利用者の要望等）	「SW推進官民懇談会－電子推進WG」において日本損害保険協会から、海上保険の電子化の一環としてNACCSとの連携について提案がなされた。	
4. 次期仕様	<p>日本損害保険協会の要望を踏まえて以下3点の検討</p> <ol style="list-style-type: none">① 個別保険：D/N（保険料請求書）の電子化（PDF）によるペーパーレス化（通関時における紙による添付の省略化）② 包括保険：輸入実績報告におけるNACCSの許可情報等の活用による集計作業の簡素化③ 包括保険申請手続き：一連の包括保険申請手続きのNACCSによる電子化の実現	
5. その他		

2. 個別保険：D/N（保険料請求書）の原則PDF化

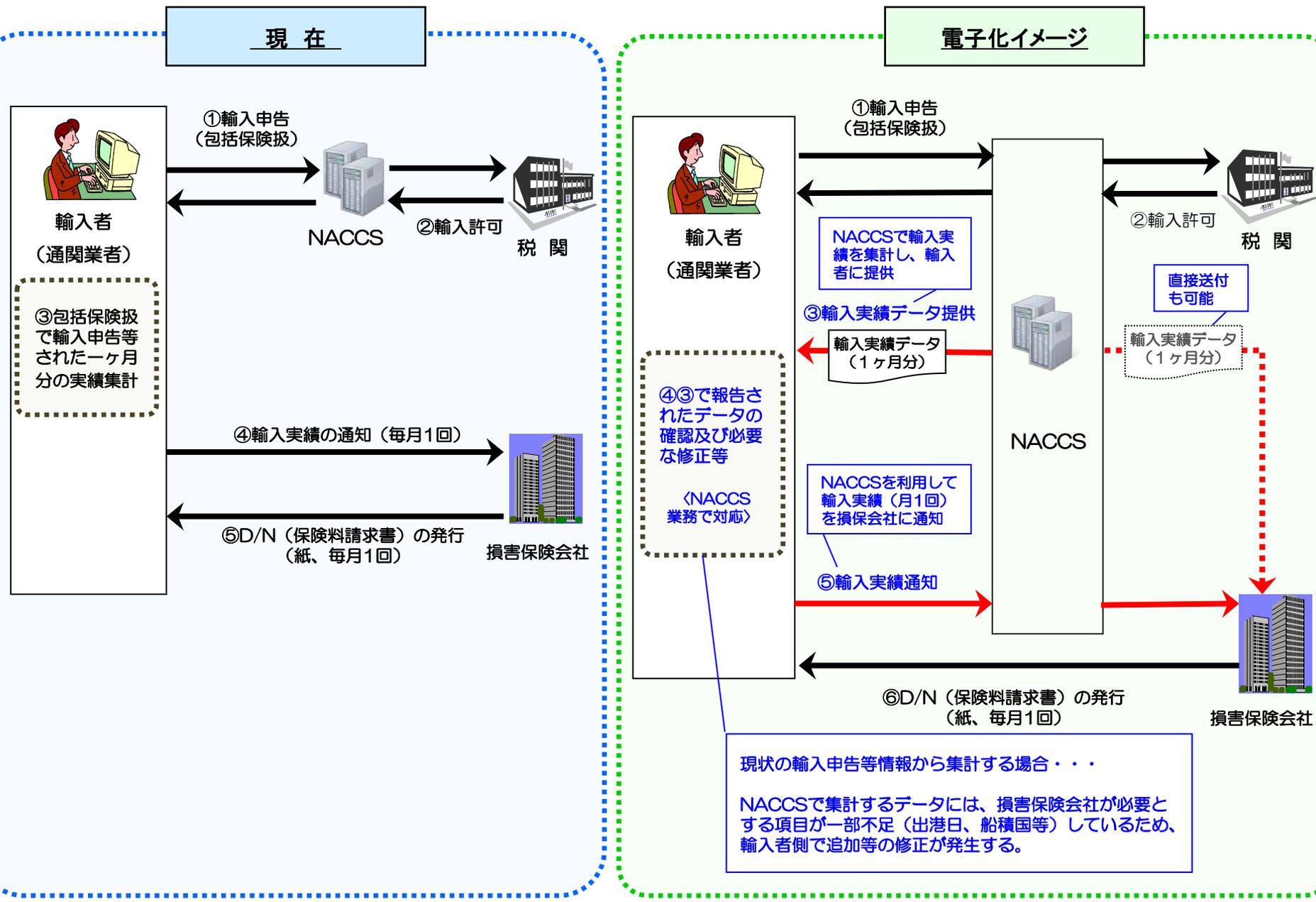
現在



電子化イメージ

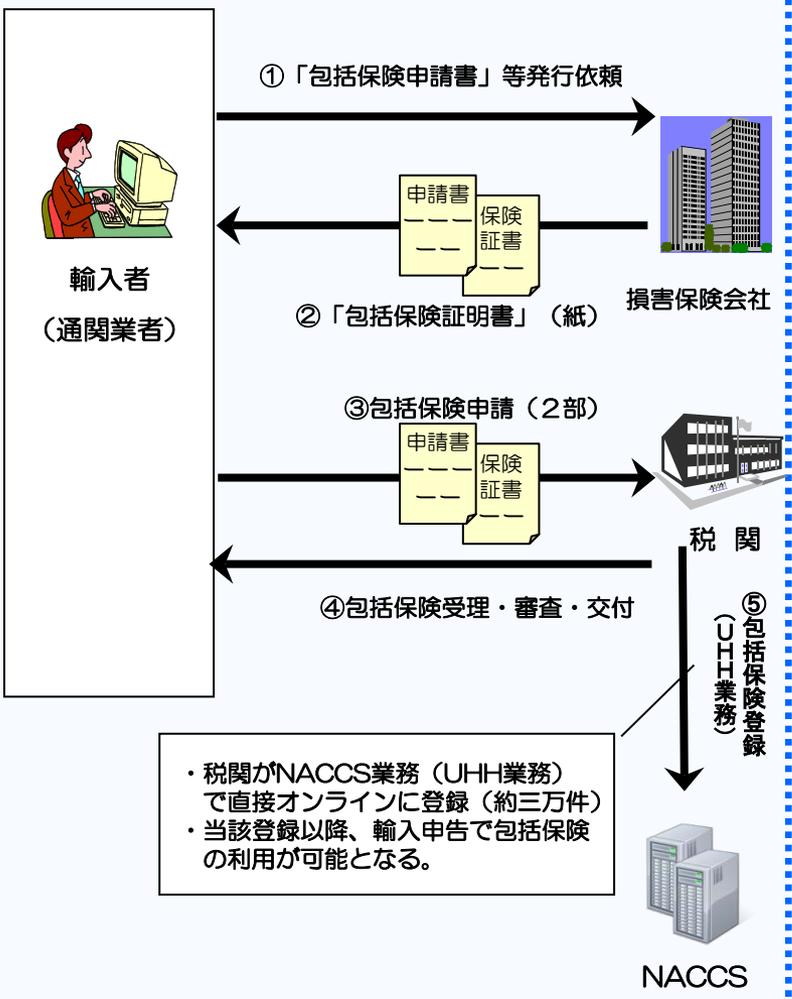


3. 包括保険：NACCSによる輸入実績データの提供



4. 包括保険申請手続き：NACCS上での電子申請

現在



電子化イメージ

